

アンケート締め切り：2021年4月2日（金）まで

※最後のページに意見・提案事項を記載し、用紙を切り取って提出してください。

常総生協2021年度に向けて

春の組合員討議資料

2021年1月27日 常総生協 理事会

常総生協 理念

【食は命（いのち）】 ～ものづくり 人づくり 地域づくり～

2021年度活動テーマ（案）

笑顔で育む免疫力

2021年 常総生協第48回通常総代会 開催要項

日時：6月12日（土） 9：30～12：30

場所：常総生活協同組合 本部

※コロナウィルス感染状況に応じて書面議決を中心とした議決に切り替える場合があります。

常総生協第48回通常総代会で、新しい年度の活動を決めていきます。アンケートに答えて下さることで、常総生協の力になります。ご協力お願いします。

討議資料を基に「春の地区懇談会」を開催していく予定です。お気軽にご参加ください（後日、日程をお知らせいたします）。

回答用紙・WEBフォームでも回答できます。

○回答用紙

最後のページに意見・提案事項を記載し、用紙を切り取って提出してください。

○WEBフォーム

WEBフォームはQRコード（右）を読んで入力してください。もしくはこちら

→<https://forms.gle/F24hTwGZFFgGfv8d9>

※ホームページにも掲載予定です。

春の討議資料アンケート2021



常総生活協同組合

【1】2020年度 ふりかえり

2020年度をふりかえり、2021年度の活動方針作りに活かしていきたいと思います。

■はじめに

新型コロナウイルスの世界的感染拡大は止まりません。そして世界は歴史的転換点を迎えています。収束のカギはワクチンと言われ、その開発競争がすすんでいます。しかし、それはある意味、対処療法で、その背後にある構造問題をしっかり押さえておく必要があると考えます。

近年、コロナウイルス感染症が頻発しているのは、自然破壊によって野生動物との接触を加速したことが原因と言われます。SARS（重症急性呼吸器症候群）はコウモリからハクビシンを経て人へ、MERS（中東呼吸器症候群）もコウモリからラクダを経て人へ、という経路が推測されています。今回の新型コロナウイルスは、コウモリからセンザンコウを経由して人に感染したのではないかという憶測があり、中国武漢の市場でセンザンコウなど野生動物が販売され、それが新型コロナウイルスの発生源という仮説が有力になりつつあります。

さらに自然破壊が続けば、深海や氷河の下に眠っている未知の微生物やウイルスを引きずり出してしまいかも知れません。自然破壊を抑えても、地球温暖化は生物の動きを変え、新たな脅威をもたらす可能性があるとの指摘があります。

グローバリゼーション社会となった反動がこうした形で表れており、今、私たちが求められているのは地域社会の生活と、人間関係の基盤の再生であり、くらし（生活）の見直しが問われているように感じます。

■状況認識

安倍首相の辞任後、日本の政治は流動化しています。自民党の派閥談合により安倍政治の継承を唱える菅政権が誕生しました。菅政権が掲げる自助政策（新自由主義）・規制改革は、コロナ禍において貧困格差問題をますます深刻化させることになりそうです。

○経済

コロナショック（コロナ禍による経済不況）により非正規雇用の雇い止めが急速に増える一方で、株価は30年ぶりの高値となっています。持つものと持たざるものの格差はますます広がり、特に女性の貧困、子どもの貧困が深刻化しています。まず極端な富の偏在を是正（所得再分配）することで、格差を是正することを求めます。

2020年7月労働力調査では、雇用の「調整弁」とされやすい非正規雇用の昨年同月比較で、131万人減（男性50万人 女性81万人）となっています。三菱総合研究所の調査によると、低所得者ほど所得の減少率も大きくなっています。対照的に輸入高級車はコロナ禍でも売れ行きが大きく伸び、1,000万円以上のポルシェやベンツなどの販売台数が3割増えています。

○社会

- 令和2年7月豪雨は甚大な被害をもたらしました。ここ数年、毎年、日本列島は50年に1度の豪雨が襲い、大規模災害に見舞われています。線状降水帯の発生、1,000㎜を超える雨量は、河川の氾濫、農業にも大きな影響を与えています。また森林荒廃による森の保水力の低下も大規模災害の一因との指摘があります。国土強靱化ではない総合的な治山治水政策が必要と考えます。
- 2020年7月よりプラスチック削減の取り組みとして、レジ袋の有料化が実施されました。プラごみの削減が狙いですが、レジ袋が占める割合は2%に過ぎず、本格的なプラ削減の取り組みが求められています。日本は、国民1人当たりの使い捨てプラ消費量は、アメリカに次いで多い「使い捨て大国」です。分別・収集の仕組みは確立されている反面、回収された後のリサイクルには課題が残ります。
 - 新型コロナの影響で、持ち帰りや使い捨てが奨励されている。むしろプラごみの収集量も増えている。
- 種苗法改正案が2020年12月の国会において可決されました。農水省は国内品種の海外流出を防ぐために必要といますが、真のねらいは違います。種子法廃止・種苗法改定の次の

シナリオがあることを想定しなければなりません。種苗法改正により登録品種に関して、農家の自家増殖（自家採種）は許諾制になり、多国籍GM企業による種子支配がすすみ、日本の食料主権が脅かされることが予想されます。

- 国内品種の海外流出防止を掲げた種苗法改正案の可決から輸出振興策も加速しています。もう一方で、ゲノム編集GABAトマトがゲノム編集食品として、厚労省は、日本国内で初めて、届け出のみで販売流通を認めることを了承しました。今回の種苗法改定からゲノム編集食品の認可までの流れがどのような意味があるか？これからゲノム編集された登録品種が増加し、それらが普通となった場合、農家は許諾料を支払わなければ自家増殖できない状況が生まれます。

②2020年度活動方針のまとめ

- ①2020年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・おうちごはん」～食卓から笑顔あふれる未来へ～ を各活動、他団体、組合員交流を通して実践していきます。
- ②人と人のつながりを様々な形でつなげる協同組合を実施していきます。
- ③いのちを育み、守る取り組みをしていきます。
- ④平和・環境・地域コミュニティの活動に取り組んでいきます。
- ⑤生産者・他団体との協同連携をすすめていきます。

①2020年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・おうちごはん」～食卓から笑顔あふれる未来へ～ を各活動、他団体、組合員交流を通して実践していきます。

- 1) 今年度は新型コロナウイルスの影響でゆるカフェは中止になりました。

②人と人のつながりを様々な形でつなげる協同組合を実施していきます。

○理事会通信、Facebookの継続

Facebook投稿は組合員理事を中心に投稿を継続して行きました。常総生協の魅力・生活の知恵・工夫、組合員の生活に寄り添った内容など、楽しく豊かな常総ライフの発信をしていきました。

○ITツールを活用しての活動の取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の影響で自粛の世の中の状況に対し、活動の打ち合わせ、連携に対し、オンラインを活用しながら活動をすすめていきました。

- WEB会議システム
 - 定期的な委員会活動、学習会にてオンライン開催を実施して行きました。
 - 生産者と連携し、オンラインでの講習会を2回開催しました。
- メール링グリスト
- SNS（Facebook、Instagram、Twitter等）
 - Facebookの他にInstagramの開設、Twitterの投稿もUPしました。主に注文回収回における商品トピック（おすすめ商品、動画、放射能検査情報）のWEBページを毎週UPしました。

○生産者-組合員をつなぐ

- 産地交流会も開催することが出来ず、今年度はゼロです。生協まつりも開催できませんでした。
- 生協まつりが開催できなかった代わりに生産者と組合員をつなぐ場として「つながろうプロジェクト」を発足しました。紙面、ホームページ、動画



サイトを活用して生産者メッセージを組合員へ伝える場づくりを行いました。

○みそ瓶・保存容器の貸し出し

自家製みそ作りを広める取り組みとして継続しました。また、梅しごと、らっきょう漬けなどに使用できるガラス製の保存容器も貸し出しし、家庭での手作りを応援していきました。

○和綿活動

綿に限らず、藍、ヘチマ、トマト、あさがおを生協センター裏側の畑に植えて、種まき～収穫までを行いました。

品目	種の種類/入手先
和綿	大島在来種（元理事長 村井さん）
藍（あい）	・だて藍（在来種）
ヘチマ	・太ヘチマ（固定種） 野口種苗研究所
トマト	・ステラミニトマト（固定種） ・ボルケーゼトマト（固定種） ともに野口種苗研究所
あさがお	・撫順のあさがお（組合員さんよりいただきました） ・青いあさがお（生産者 ケイミーさんからいただきました。）
にんじん	・トーション（飯野農園の自家採取）

在来種の保護の観点からも、和綿栽培を継続し種の保存に取り組みます。収穫した和綿は従来の和綿製品の製造に加え、新しく製品化した、手にはめて使用する「お肌洗い」も広めたいと考えています。

③いのちを育み、守る取り組みをしています。

○いのち育む食の安全を守る取り組み

遺伝子組み換え、農薬、ゲノム編集技術、原発、ウィルス問題など、いのちを脅かすものについて、その時・その状況の中で最善の取り組みを協議・検討し対応をしていきます。

現在ゲノム編集技術の用いたトマトの苗の無償提供が始まりました。日本消費者連盟、生協ネットワーク21など他団体とも連携を図りながら、危険因子のあるものに対して止める動きをとっていきます。

○常総っこ応援団「ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク」

2020年4月から、「ゴンタの丘」改め「流星台プレイパーク」として、移転、リニューアルしました。常総っこ応援団の他、2団体と活動名「ゴンタで遊ぼう」を共有し、毎週木曜日10時00分～14時まで開放しました。流星台プレイパークに登録する4団体で「流星台プレイパーク連絡協議会」を設立し、登録団体同士・つくば市との連携をはかりながら、外遊びや遊び方を広めると共に、地域の子育て応援、居場所作り、親子煮炊き会にて食の発信に努めます。

○脱原発とくらし見直し委員会

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の中、オンライン（ZOOM）を活用して定期開催をしていきました。
- 巣ごもりの中、DVDの貸出、鑑賞を促す取り組みをしていきました。
- ワーキングチームへ意見書を提出し、傍聴参加をしてきました。意見書の理解を深めるために学習会を委員会内で開催しています。

○子どもたちの健康調査を関東子ども健康調査支援基金と協力しながら実施していきます。

現在のところ、新型コロナウイルスの感染防止の観点から検診中止になっています。検診が継続できるよう、関東子ども健康調査支援基金への寄付の呼びかけを始めました。

○東海第二原発差止訴訟

- いのち・環境を脅かすリスクのある原発の差し止めに向けて取り組みました。
- 判決に向けて事務局として原告団のフォローを行いました。
- 一審判決で勝っても負けてもどちらにしても東京高裁への「控訴」となることは必至です。

④ 平和・環境・地域コミュニティの活動に取り組んでいきます。

○平和の集い（平和活動）

市民学習会「私たちのくらしと憲法」「歴史を学ぼうー未来のために」の両講座をオンラインと少数での本部開催の併用をしながら継続して行いました。

○環境活動

- プラごみ問題に対して、商品を入れている包装（レジ袋）を植物由来の原料を25%と含んだバイオマスマーク認定とプラスチックゴミとして廃棄することでき、リサイクル出来る袋に変更しました。
- ヘチマを活用してマイクロプラスチック問題に取り組みます。
 - 収穫終了し、生活アートクラブの協力を得ながら商品化をしていきます。

○城山ステーションサロン（地域コミュニティ）

コロナ過の中で人が集まる場所づくりをすること自体が難しい状況でしたが、9月に生産者のミートパル村山さんの協力のもと、「お好みフライお持ち帰り会」を開催しました。感染対策のため、事前予約を受けて販売会を実施しました。

5) 生産者・他団体との協同連携をすすめていきます。

引き続き茨城、千葉の県生協連、生協ネットワーク21、日本有機農業研究会、フードバンク（茨城、ちば）、JFSA、どんぐりてい等の各友好生協や他団体と協同組合間協同として連帯した取り組みを行っていききました。

（主な連帯活動の内容）

生協・団体名	内容
県生協連（茨城、千葉）	災害、学生食料支援、地域の中でのたすけあい行動に取り組んでいます。
生協ネットワーク21	・小規模のこだわり系生協として情報共有を行っています。 ・小規模のこだわり系生協の生き残りをかけて、事業の連帯を協議していきます。 ・共通のテーマ「遺伝子組み換え、ゲノム編集、農薬、種」の課題を連帯した運動をとっていきます。
日本有機農業研究会	有機農業推進、生産者育成、生産者と消費者の関係づくりについて共に取り組んでいます。
フードバンク茨城	学生・子ども支援として連帯して活動していきます。
JFSA	国境を越えて、パキスタンのスラム街に暮らす子ども達の自立と学校運営を支えるため、古着回収を実施しました。
どんぐりてい	自給、人とのつながり、地域の関わりとして協同の活動と、商品を通して応援していく体制をとっていききました。今年度は年末に新商品「のしもち」の供給を行い、多くの組合員さんが喜んで利用していただきました。

③2020年度事業・予算方針のまとめ

○事業・予算方針

- ①供給高前年比99%、経常剰余で黒字化。
- ②組合員拡大 500名を目標とする
- ③供給政策、一人当たり利用金額5,700円を確保する。
- ④持続可能な職場づくり（働き方改革）

2020年度事業総括

■ 損益状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
■2020総供給高	93,462,047	95,338,563	94,845,018	91,434,944	75,965,069	79,970,475	83,597,732	82,317,357	110,876,277	807,807,482
前年比	120.9%	121.6%	133.7%	114.3%	119.8%	113.8%	112.1%	113.4%	108.7%	117.2%
●2020経常利益	4,789,698	4,063,798	6,384,748	▲1,235,425	1,082,719	1,905,229	2,273,822	1,795,845	5,812,094	26,872,528
前年差	4,165,559	3,375,401	6,452,622	▲3,282,116	2,988,939	2,767,936	2,589,458	2,714,224	▲2,093,168	19,688,855

- 1) 12月決算（第Ⅲ四半期決算）時点で供給高は前年比117%伸長しており、経常剰余も2,687万円となっています。最終的な年度見通しでも2,000万円以上の経常剰余を見込んでいる状況です。
- 2) 期首累積欠損額8,200万円→6,000万円まで解消する見込みです。早期の累積欠損解消を目指し、経営の安定化を図ることが優先課題となっています。

■ 共同購入進捗（2020年4月1回～2021年2月2回 46週時点）

- 1) 共同購入供給高 9億1,864万円（前年比118.4%、計画比118.1%）
- 2) 発行枚数 158,311枚（前年差+1,916枚、計画差+1,242枚）・・・週あたり+42枚
- 3) 回収実績 145,399枚（前年差+8,397枚、計画差+7,645枚）
- 4) 一人当たり利用額 6,318円（前年差+655円）
- 5) 平均利用点数 15.0点（前年差 +1.36点）

宅配ニーズ増による利用者数、利用金額、利用点数が増えたことにより、大幅な前年・計画を超えている状況です。但し新規組合員が増えている状況ではなく、発行枚数自体は週あたり+42枚程なので今後の利用状況によるといった不安があります。安定した供給高増（成長戦略）を目指すためには組合員拡大が最優先課題であり、投資していく必要があります。

2020年度組合員数の増減推移



■ 店舗事業進捗（2020年4月～21年1月）

- 1) 1月時点で前年115%の売上伸長です。
- 2) 緊急事態宣言が出された期間（4、5月）は来店数、売上共に好調に伸びました。
- 3) 来店者、スタッフ共に感染を防ぐための飛沫防護シート、消毒液、サーモ体温測定器の設置をし、店内は締め切らないで絶えず換気していくようにし、感染拡大防止に努めて営業しました。

月	営業日数	前年差	客数	客数差	客/日	前年差	税抜売上	前年比
4	26	0	1,603	228	61.7	8.8	3,824,865	139.8%
5	26	-1	1,574	190	60.5	9.2	3,394,515	124.2%
6	26	1	1,455	128	56	2.9	3,164,535	124.0%
7	27	0	1,323	6	49	0.2	2,701,966	110.2%
8	23	-1	1,229	39	53.4	3.8	2,504,926	105.9%
9	26	1	1,288	-4	49.5	-2.2	2,669,538	103.1%
10	27	1	1,344	28	49.8	-0.8	2,682,468	111.5%
11	25	-1	1,311	22	52.4	2.8	2,670,486	109.6%
12	28	1	1,624	67	58	0.3	4,146,893	107.7%
1	22	-1	1,135	34	51.6	3.7	2,435,685	114.7%
計	256	0	13,886	738	54.2	2.8	30,195,877	115.1%

■ 新型コロナウイルスにおける生協事業の課題

- 1) 宅配ニーズの上昇

- a) 生協は組合員の暮らしを守る組織として成立しています。新型コロナウイルスが感染拡大し、緊急事態宣言が発令される中、生協の宅配事業は社会機能を維持するために、その存在意義がさらに増すことになりました。
- b) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年3月度より全国で生協の供給高は前年を大きく上回り、物量のキャパシティを超える勢いとなりました。しかし、生協業界は現状維持に合わせた物流投資であったために急増する宅配ニーズに対応できないという現実と直面することになります。
- c) 急増する宅配ニーズに対応できなかったことに対する総括はどうだったのか？常総生協においては、大手生協都合による受注制限、中止欠品の多発があり、一次的に常総生協に利用集中する流れが見受けられました。こうした消費者の良いところ取りに対して今後、どのように対応していくか？新型コロナウイルスの感染拡大による宅配ニーズの高まりをどのように捉えているか？それは一時的なものか、それとも新常态（ニューノーマル）と考えるかで、今後の事業運営のすすめ方が大きく変わってくると思います。

2) 組合員活動の変化

- a) 事業高の上昇とは異なり、生協の基盤である組合員活動の開催が厳しく、開催出来ていない状況が続いています。定期開催の脱原発とくらし見直し委員会、平和の集い（憲法・歴史講座）をオンライン（ZOOM）での開催などで実施していますが、協同組合としての根本である「ひと」の集まる場として本部で開催していく事が厳しくなりました。
- b) 産地交流会も開催することを躊躇してしまい、今年度はゼロです。また、基幹的な行事の地区懇談会、生協まつりも開催できませんでした。
- c) 集まって開催→オンラインと変化し、ITツールが苦手な人と、そうでない人の分断も出来てしまっている状況です。
- d) フードバンク茨城との連携活動として学生への食糧支援活動はフードバンクちばの協力のもと、組合員へ協力を呼びかけ物資を運びお届けする事が出来ました。JFSAへの古着回収は回収のみ行い、衣類の選別作業、コンテナへの積み込み作業のお手伝いなどはできませんでした。

3) コロナショック

- a) 新型コロナウイルス収束の目途がつかず、先行きが非常に不透明な状況になっています。生協の宅配事業も正念場を迎えつつあります。一方、新型コロナウイルスの感染防止対策は外出を自粛する流れとなり、飲食店・ホテルや百貨店などの客数・売上減少、企業倒産そして大恐慌へのシナリオが危惧されます。

4) 配送センターの物理的限界

- a) 供給高12億規模が限界です。仮に2,300万円/週になると年間12億の供給高です。実際に2300万円を超えたのはこの4-6月で5月1回だけですが、その後2200万円をしばらく推移していたので、現場では商品にあふれ、供給コースも増車体制を緊急的にとる必要が出てきました。事業継続の観点から見直しも必要となりました。

5) 働き方改革対応への問題点

- a) 長時間労働の課題
 - i) 常総生協の職場としての課題として、長時間労働です。2020年度は供給部の改革として、朝の積み込み作業を外部委託しました。それにより、朝の出勤時間を実働1時間程短縮することが出来ました。平均労働時間も月10時間程短縮する事ができました。
 - ii) 外部委託することでメリットがある一方で、セットミスが増え、配送現場の労働コストの増、委託経費の増で、経費は増えている状況です。
- b) 有給5日取得制度

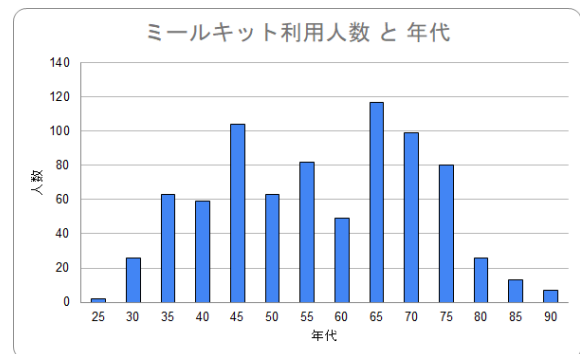
- i) 年間有給5日制度には対応が弱く、人的な体制面からも何とかやりくりして消化しているのが現状です。将来的な視点からも有給がとりやすい組織にしていくには、常総生協規模（年間供給高、組合員数）では対応していく事が難しいです。
- ii) 今後持続可能な対応をしていくにはシステム投資（省人化）をしてピックアップ（商品セット）システムや、センター拡張工事等が必要ですが、資金的な体力面から見ても厳しい状況です。
- iii) 供給職員1人あたり年間1億円の供給高を供給する事が基本の採算ベースと考えています。採算ベースの基本的な考えとして、正職員で供給を行うにはその分の人件費や、物件費（経費）を考慮して計算しています。コースの最適化にはいかにコース内の組合員密度を濃くしていくかがポイントになります。組合員紹介加入の強化はコース最適化につながるもので、非常に重要になってきます。いかに組合員さんに生協を魅力に感じてもらい、紹介したいと思ってもらえる様に取り組めるかが大切です。

6) 生協の成長のカギは組合員拡大

この間は宅配ニーズが高まった影響もあり、活動組合員が純増しました。下期以降は純減ペースとなり期末までに+65名に持っていけるかどうか焦点となります。ニーズがあるにも関わらず大きく加入数を伸ばせなかった要因としては、人的体制づくりが間に合わなかった事と、自粛傾向の中で、イベント、戸別訪問に対して積極的に臨めなかった2点です。いかに拡大について考えていける人材を何人作れるかが組織力の問われるべき点と、年度末、年度初めには盤石な体制にしていく事が重要になります。

■ 2020年度取り組んだこと

- 1) 新しい取り組み着手として「ミールキット」の導入をしました。「ミールキット」は常総生協の宅配ニーズのすくい上げの商品であるとともに、常総生協自体のリノベーションを図るキッカケの商品であると考えます。実際の利用者の年代は当初の予想とは異なり、60-70代が多かったことも驚きでした。「かんたん・べんり」を知恵と工夫で乗り切った人たちが楽をしたいという組合員の心情も見えてきました。ラインナップを増やしていく事が課題です。
- 2) ホームページのリニューアルを進めました。主にレスポンス対応、生協側の発信ツール、多様な閲覧者への対応の3つの意味合いから変更していきました。組合員拡大の窓口ともなるので、今後の運用フローも定着させ、発信ツールとして活かしていきます。



2021年度活動テーマ（案）

笑顔で育む免疫力

コロナ禍において、課せられた行動変容は、私たちの暮らしに大きな変化をもたらしました。とりわけ、「食べる」ことはどのような状況であっても、生命を育む・守る上で、欠かせません。今年度は新種のウィルスと向き合いながらの身体作りを考えていきます。

常総生協の理念「食は生命(いのち)」とは、身土(しんど)不二(ふじ)、人の身体と土地は切り離せない関係にあり、その土地で旬の季節にとれたものを食べることが健康に良いという考え方に基づいています。

地元の旬の食材は栄養価も一番高く、食材の持つ力を最高の状態でいただく事ができるという先人からの教えです。

そして、人には自分で治す力、つまり自己免疫力があります。ワクチンや治療薬など様々な医療技術が発達してもなお、人が古来から育んできた力で、身体を守り続けています。

食材の生命を育む力と、人が生命を守るための自己免疫力。腸内環境を整えて免疫力を高める発酵食品に加え、旬の食材、地元の食材、食材の力を損なわないよう手作りされた加工食品など、常総食材を上手に活用することで、相互の力を蓄える事ができます。そこに、常総生協が大切にしてきた人とのつながりによる笑顔、おいしいものを食べたときの笑顔が加わることで、心の健康も維持することができます。

どんな時代になろうとも、人と人とのつながりを大切に、明るく笑顔になれる食卓で常総食材を囲みながら、自己免疫力を高め、新しい時代を楽しく生き抜くための丈夫な身体作りをしましょう。

○2021年度活動方針（案）

- ①2021年度活動テーマ「笑顔で育む免疫力」を各活動、他団体、組合員交流を通して実践していきます。
- ②食の問題に対して取り組む組合活動組織を形成していきます。
- ③いのちを育み、守る取り組みをしていきます。
- ④平和・環境・地域コミュニティの活動に取り組んでいきます。
- ⑤生産者・他団体との協同連携をすすめていきます。

- ①2021年度活動テーマ「笑顔で育む免疫力」を各活動、他団体、組合員交流を通して実践していきます。

▽活動企画（案）

月	取り組み	取り組み内容	具体的な活動（開催日程は仮）
2-3月	苗企画の野菜作り（発注）	常総生協では「有機農業」の推進をおこなっています。常総生協がかかける「有機農業」は、単に「●●農薬を使っていません」という事ではなく、「人の健康・生命を支えるもとだね」として考え、健康な土づくりから行っているか、地域や土地で循環させる農業をおこなっている、またそれを目指しているかを指します。その推進の一環として、2009年から野菜そのものだけでなく「苗の企画」をおこなってきました。それは有機農業をおこなっている地場農家さんから実際に夏・冬野菜として出荷する苗をいただき「まずは私たち(組合員)でも育ててみよう！」という取り組みです。私たちは生産者に多くの事を求めがちですが、実際に作ってみると様々な気づきがあります。そして収穫の喜びもまたひとしおで、野菜を作る大変さを共に分かち合うことができます。旬の時期に旬の野菜を食べる事は栄養成分(いのち)を最大限いただくことができます。免疫力アップにつなげましょう。	2月...つくば市：飯野農園さんの苗企画 3月...行方市：微生物農法の会の苗企画、坂東市：青木さんの苗企画
4月	春のぬか漬作り	ぬか漬は年間通して出来る手作りですが、ぬか床が一番うまく発酵する温度が25℃前後と言われています。その為、初めて挑戦するぬか床ビギナーが始めるタイミングとしては春がBEST！また、これから春野菜・夏野菜とぬか漬の入り口としては扱いやすい果菜類が旬を迎えるので地場野菜とのコラボでの提案が可能となります。年間を通して発酵食品であるぬか漬を常食してもらい、腸内環境を整えて免疫力UPを目指しましょう。	4月10日(土)10:00～12:00ぬか漬講習会 @zoom／(講師)ケイミーオフィス・青木さん
5月	①苗企画の野菜作り ②常総醤油を使った「醤油麹」活用術	①2-3月の苗企画の野菜作りと同じです。 ②今年新しく絞った「常総醤油」×「麹(ひしおの花)」を使って、醤油麹を作りましょう。春先であれば約3週間で出来上がり、生きた酵素、乳酸菌、酵母を食生活に取り入れることができます。	①苗をお届けし、各ご家庭で栽培します。Instagramにて投稿を募集します。 ②醤油麹の作り方講座、また醤油麹の調理活用術と一緒に学びましょう。5月8日(土)10:00～12:00 醤油麹の調理講習会
6月	①梅づくり、はちみつ講習会 ②地場の大豆播種	①梅にはクエン酸、リンゴ酸などの「有機酸」、カルシウム・鉄などの栄養成分の宝庫。さらに「はちみつ」を加える事で殺菌作用のグルコン酸、10数種類のビタミンを摂取する事ができます。梅雨のジメジメした時期、身体と心の栄養として「梅仕事」を一緒におこないましょう！ ②国内で生産されている大豆においては、主食でありながら遺伝子組み換え作物・残留農薬(ネオニコチノイド系)の危険性、今後のゲノム編集食品化の危惧など、問題が後を絶ちません。また、平成30年から遺伝子組み換え表示制度が改訂され、食用大豆については遺伝子組み換え大豆の「義務表示」となりました。しかし、加工用＝醤油やみそについては「任意表示」なので消費者には分からない状況です。こうした問題については、消費する側も「生産者がなぜそれを使わなければならないのか？」を考える必要があります。従事者の高齢化、低価格(それを求める消費者)、担い手不足―作物を作るにあたり、生産する側も様々な問題に直面しています。常総生協では、組合員と一緒に食べ物・それをつくる人との信頼関係をより強固なものにしていきたいと考えています。「遺伝子組み換え大豆は使用していません」「国産の大豆を使っています」という事だけでは不安解消にはならないと考えます。顔の見える・いつでも畑にいける距離、困ったときには援農や情報交換ができる関係性、つまり「地場の生産者」の存在が今後一層大切になってきます。地	①5月29日(土)梅づくり、はちみつ講習会@zoom／(講師)藤井養蜂場・三浦さん ②守谷市：横瀬さん、坂東市：どんぐりていさんにて農薬無散布・化学肥料不使用の大豆をつくっていただきます。大豆播種の時期に援農をおこないます。援農時期：6月予定

		場の、かつ農薬や化学肥料を使っていない大豆で「みそ作り」をする一 始めは小さな取り組みかも知れませんが、持続可能な「生産と消費」の 関係を築いていきたいと思います。	
7月	乳製品を食べよう（鈴 木牧場の ヨーグル ト、チー ズ、牛乳3周 年）	乳製品は、液の分泌や腸のぜん動運動をうながし、消化吸収を助ける作 用があります。腸に生きて到達する乳酸菌は、乳酸や酢酸を作り、悪玉 菌をおさえて有害な物質が作られるのを防いだり、腸の調子を整える働 きがあります。また、鈴木牧場は牛糞発酵→堆肥化（牧草へ）→牧草を 食べる牛→牛が健康になる→健康な牛の牛糞を再び畑に戻す。こうした 循環型農業を実践しています。効能だけでなく真の意味で安全な乳製品 をいたしましょう。	7月11日(土)10:00～12:00 鈴木牧場産 地交流会（場合によってzoom）
8月	枝豆収穫・ 交流会、援 農（地場大 豆）	6月②地場の大豆播種と同じです。	8月1日(土)9:00～10:30 枝豆収穫、交 流会、援農をおこないます。※本来は 1-2月に収穫する大豆ですが、早採り＝ 枝豆としていただきます。
10 月	秋のぬか漬 け作り	春に続き、新規加入者が多い季節であると共に、温度的にも初心者にお すすめの季節。秋冬の野菜（白菜、大根、かぶ等）を発酵食品で上手に 取り入れるツールとしてぬか漬の提案をします。また、ワンランクUP して魚や鶏肉など野菜以外の食材をつけて食べる提案も一緒に。春先よ りも寒い時期に向かう秋口の方が漬けた素材を焼いたり火を使う調理 もしやすく、漬物以外の食べ方も提案する事で、漬物が苦手な人や子供 にも食事のメニューとして発酵食品を取り入れてもらいたいと考えてい ます。	ぬか漬講習会@zoom
11 月	発酵食品/や がちゃんキ ムチ2周年	最もメジャーなキムチである白菜は甘みも増して、冬が美味しい時期。 旬の原料で作ると出来上がるキムチもひと味違うので、冬白菜で手作り キムチに挑戦してもらいたい。そこに合わせて、やがちゃんキムチ オリジナルの「塩」と「ヤンニョム」をセットにした商品提案を行いま す。また出来上がったキムチはそのままだけはもちろん、鍋にするなど寒い 時期ならではの楽しみ方も提案できます。	11月7日(土)10:00～12:00手作りキムチ 講習会
1-2 月	地場大豆で みそ作り	6月から共に見守り、共に作り続けてきた「地場大豆」がいよいよ収穫 時期となります。大豆は“畑の肉”といわれるほど、さまざまな栄養が詰 まっています。タンパク質をはじめ、脂質、糖質、ビタミンB1、ビタ ミンE、葉酸、カリウム、マグネシウム、カルシウム、リン、鉄、亜 鉛、銅など、栄養素の種類が含まれています。ビタミンやミネラルの含 有量が多いのも特徴のひとつです。大豆+麹+塩でゆっくり発酵させ、 味噌開き(目安は2022年秋)を迎えましょう。	・各地区でみそ作り講習会（場合によっ てzoom開催） ・我が家のマイみそ料理（昨年の味噌を 使って）Instagramへの投稿を募集しま す

②食の問題に対して取り組む組合組織を形成していきます。

食の危機

コロナでボケえ～～～としてたらこんな事に!!!

ゲノム編集食品認可、流通へ

遺伝情報を自在に改変するゲノム編集技術で開発さ
れた食品が2021年に登場する見通しとなったと報
道されました。第1号として血圧の上昇を抑える
「GABA」という物質を豊富に含むトマトの流通・
販売を12/11、厚生労働省の調査会が了承。
しかも!!!
ゲノム編集トマト、来春から流通 苗を当面無償提
供、国内初（東京新聞WEB）
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/73810>

2018年4月種子法廃止に続いて!!!

同法の廃止は国民の基礎的食料である米、麦、大豆の種
子を国が守るという政策を放棄するもので、種子の供給
不安、外資系企業の参入による種子の支配など懸念。

食の安全が脅かされている???

遺伝子組み換え豚承認

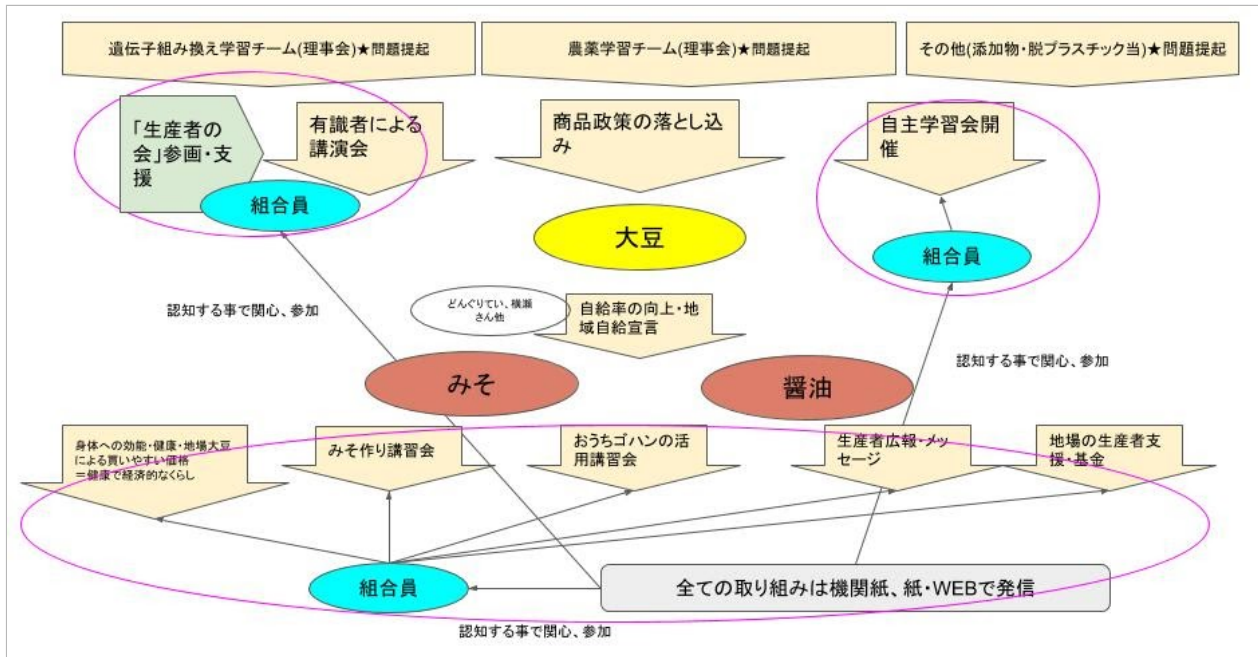
12/14、米食品医薬品局（FDA）は、遺伝子を組み
替えて人のアレルギー反応を引き起こす物質が生成さ
れないようにした豚を承認したと発表した。
米FDA、遺伝子組み換え豚を承認 アレルギー反応
回避へ（CNN）
<https://news.yahoo.co.jp/articles/71fa86045df41a23cff8e88cebc01d5b3e4704a3>

種苗法改正案 可決

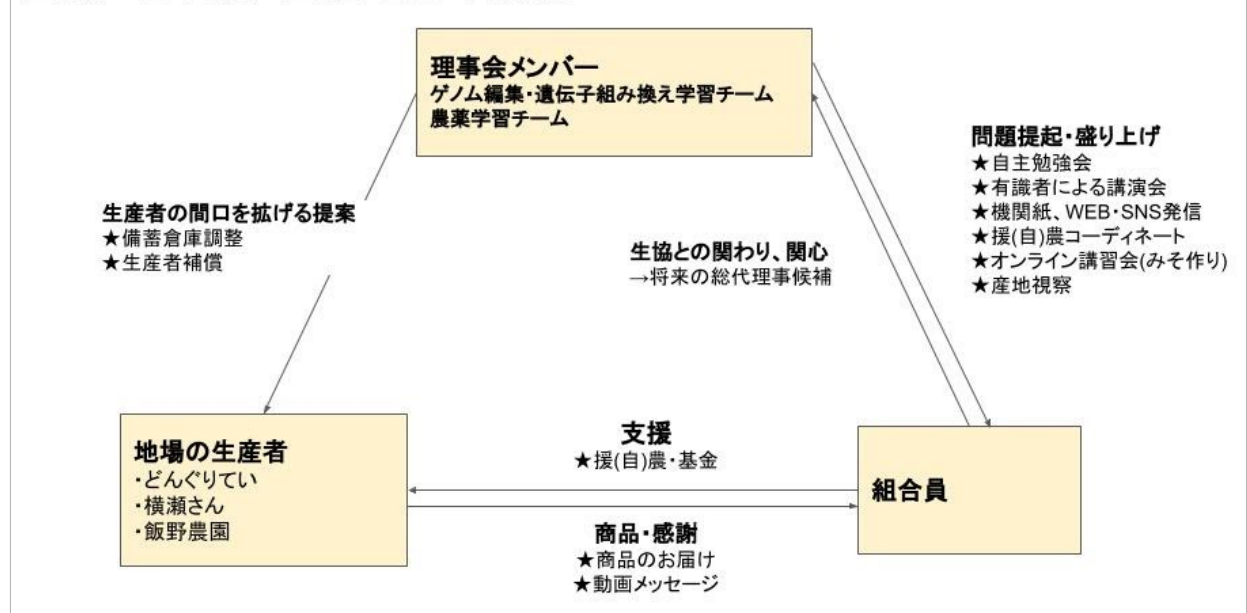
植物の種子を知的財産として保護する仕組みを強化す
る改正種苗法が2日の参院本会議で可決、成立した。
自家採種を農家が自ら育てた作物を使って来年の作付
けをする「自家増殖」を一部制限する内容には懸念の
声がある。※2018年4月に種子法廃止に
改正種苗法が成立 参院本会議（日経新聞）
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66892770S0A201C2EAF000>

- コロナ過に乗じて様々な「食」を取り巻く環境が変化しています。生協組織全体として問題意識を持って取り組む活動が必要です。そのための組合活動組織を形成していく事を提案していきます。

▽組合活動組織イメージ（案）



生協・組合員・生産者との関係



「できるときに、できることから」で組合員の皆さんが参加しやすい運営体を作っていきます。

③いのちを育み、守る取り組みをしています。

- いのちを育む食の安全を守る取り組み
 - 遺伝子組み換え、農薬、ゲノム編集技術、原発、ウィルス問題など、いのちを脅かすものについて、組合組織を形成していきます。
 - 現在ゲノム編集技術の用いたトマトの苗の無償提供が始まりました。日本消費者連盟、生協ネットワーク21など他団体とも連携を図りながら、危険因子のあるものに対して止める動きをとっていきます。

- 常総っこ応援団「ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク」
 - 外遊びや遊び方を広めると共に、地域の子育て応援、居場所作り、親子煮炊き会にて食の発信に努めます。
- 脱原発とくらし見直し委員会
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止の中、オンライン（ZOOM）を活用して定期開催をしていきます。
- 子どもたちの健康調査を関東子ども健康調査支援基金と協力しながら実施していきます。
 - 現在のところ、新型コロナウイルスの感染防止の観点から検診中止になっています。検診が継続できるよう、関東子ども健康調査支援基金への寄付の呼びかけをしながら、検診体制への協力をしていきます。
- 東海第二原発差止訴訟
 - 東京高裁へ「控訴」となることは必至です。控訴審での事務局体制をとっていく方針です。

④平和・環境・地域コミュニティの活動に取り組んでいきます。

- 平和の集い員会（平和活動）
 - 市民学習会「私たちのくらしと憲法」「歴史を学ぼうー未来のために」の両講座を継続して開催していく予定です。
- 環境活動
 - 学習会を通して組合員さんへ知ってもらうきっかけを作っていきます。
- 城山ステーションサロン（地域コミュニティ）
 - 地域へのコミュニティ作りの場を提供していきます。地域の方に喜んでもらえるイベントを開催していきます。

⑤生産者・他団体との協同連携をすすめていきます。

- 他団体のと活動、事業の協同連帯、連携を図り、地域と社会に貢献した取り組みを実施していきます。

生協・団体名	内容
県生協連（茨城、千葉）	・災害、学生食料支援、地域の中でのたすけあい行動に取り組んでいきます。
生協ネットワーク21	・小規模のこだわり系生協として情報共有を行っていきます。 ・小規模のこだわり系生協の生き残りをかけて、事業の連帯を協議していきます。 ・共通のテーマ「遺伝子組み換え、ゲノム編集、農薬、種」の課題を連帯した運動をとっていきます。
日本有機農業研究会	有機農業推進、生産者育成、生産者と消費者の関係づくりについて共に取り組んでいきます。
フードバンク茨城	学生・子ども支援として連帯して活動していきます。
JFSA	国境を越えて、パキスタンのスラム街に暮らす子ども達の自立と学校運営を支えるため、古着回収を実施します。
どんぐりてい	自給、人とのつながり、地域の関わりとして協同の活動と、商品を通して応援していく体制をとっていきます。また、生産者同士のつながりから新たな生産者の育成、発掘も行っていきます。

■事業・予算検討方針（案）

○2021年度事業計画案の基本骨子

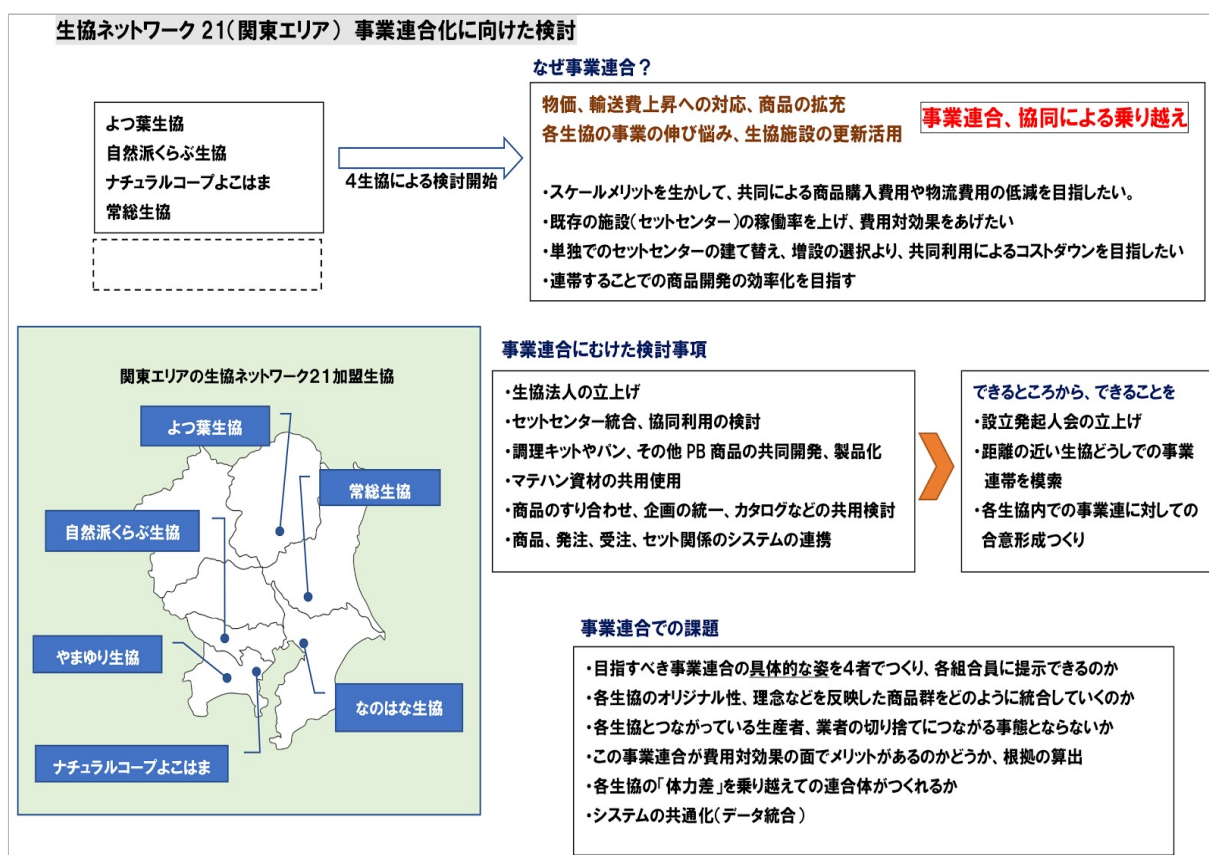
全国の生協の2021年度計画は、2019年度対比105%と考えています。2020年度が115～120%伸長とすると2020年度対比では85～90%ということになります。カタログ企画回51（前年差-2※1月1回休む場合を想定）、営業日数254日（前年差-7日）となり、営業日数減により総供給高減傾向ですが、荷台積み込み経費、定年退職者、ジョブローテーションによる人材確保、組合員拡大投資、連帯事業実現に向けてのコスト増を含むと**減収、増経費、減益となる構造が予想されます。**

常総生協においては、2020年度は10億2885万円（前年比112.9%）を見込んでいます。累積欠損解消のためには単月黒字化は必須です。2021年度は供給高10億2885万円+αを目指し、そのうえで次世代による次期事業構想を確立させます。

（2021年度予算重点案件）

- 1) 2021年度はコロナの収束ではなく、コロナ不況により1人当利用高が下がる前提で、事業計画を立案する必要があります。
- 2) withコロナによる生協活動推進・強化の為に予算立てが必要と考えます。
- 3) 職員の健康を守るために産業医との契約をしていきます。
- 4) テレワークできる環境づくりにシステムインフラの整理をしていきます。（デバイスの貸出、セキュリティ強化）
- 5) 連帯事業及び連合会設立に向けての投資計画

〇3世代が共に協同していく生協として、多様な組合員生活とニーズへの対応、持続可能な生協理念と事業を目指して、こだわり生協同士で連帯事業を進めていきます。



- ❖ 【食は命（いのち）】いのち育む食の安全と安心を支えた生産消費協同事業を継承・継続させていきます。
- ❖ 理念持続・継承させるために新たな協同の形を作っていきます。
- ❖ 配送センターの物理的限界、働き方改革に伴う労働コストの増など、経営のスリム化が図りにくい状況の中で、生協、生産者が持続可能な事業にしていく為に、事業連帯を深めて、互いに協同しながら事業を進めていく事でスケールメリットが打ち出せる様になっています。
- ❖ 物流経費増を少なくする事は、商品価格だけでなく、生産者の負担も軽減することにつながります。共通商品に関してはスケールメリットを活かした多様なニーズの商品アイテム数の増、物流統合により、物流経費を下げた求めやすい商品価格の提案ができる取り組みを目指します。
- ❖ 第1段階としてよつ葉生協（栃木県・小山市）と冷凍温度帯商品の共有化と合同物流を2020年度上半期内にスタートさせていく予定です。

2020年度 ふりかえり 食とくらしの点検

※アンケート締め切り:2021年4月2日(金)まで、裏面もあります。切り取ってお使いください。

組合員番号:

コース名:

組合員名:

1.食事の心がけ ※☑つけてください。複数回

答可

- ☐ 旬のものを心がけて食べました。
- ☐ 背筋を伸ばして、よく噛んでゆっくり食事ができました。
- ☐ 栄養面で偏らない食事が出来ました。
- ☐ なるべく家族で食事することが出来ました。

2.食事の基本 日本型食生活 ※☑つけてください。複数回答可

- ☐ 主食(雑穀)はご飯、雑穀などの穀物を摂り入れました。
- ☐ 青魚を食べる様になりました。
- ☐ 肉・卵・牛乳は「良質・適量」を心がけ、食べ過ぎないように気をつけました。
- ☐ 植物性タンパク「大豆・大豆加工品」を毎日食べました
- ☐ 野菜は緑黄色野菜を組み合わせる毎日の食事に取り入れました。
- ☐ 食物繊維豊富な乾物・豆類を増やしました。
- ☐ 海藻を食べるように心がけました。
- ☐ 味噌・納豆・漬物などの「発酵食品」を常食できました。
- ☐ 「揚げ物」の頻度を抑えられました。
- ☐ 「外食」を減らしました。

3.調理技術の基礎 ※☑つけてください。複数回答可

- ☐ 素材や調味料の目安を体得して無駄のない使い方ができました。
- ☐ ダシ(煮干・昆布・かつお節)を取りました。

4.くらしの見直し ※☑つけてください。複数回答可

- ☐ 電気や石油をなるべく使わない生活を心がけました。
- ☐ ゴミを削減できました。
- ☐ 油は捨てないで、使い切りました。
- ☐ 石けん洗剤を使いました。
- ☐ 節水を心がけました。
- ☐ 加工食品からなるべく手作り食へ切り替えを心がけました。
- ☐ 緊急時に備え、備蓄を心がけました。
- ☐ 地産地消を考えて購入しました。
- ☐ なるべく車を使わないようにしました。
- ☐ 自分で作物を作りました(家庭菜園)。

5.家族の健康状態 ※☑つけてください。複数回答可

- ☐ 体調がよくなった。
- ☐ 快食・快眠・快便です。
- ☐ 家族みんな元気です。
- ☐ 風邪をひきにくくなった。
- ☐ 病院通いが少なくなった。
- ☐ その他()

6.食とくらしの点検表をつけてみて感想

あてはまる数を数えてみよう。→ _____/32項目

回答・意見・提案用紙

【1】2020年度 ふりかえりについて

回答・意見・提案・感想等ありましたらご記入下さい。

【2】2021年度 生協方針検討 みんなで取り組みたい事

回答・意見・提案・感想等ありましたらご記入下さい。

アンケート締め切り:2021年4月2日(金)まで